

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		SOU NEXT牧港(放課後等デイサービス)		公表日		令和8年 月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・時間を区切り、部屋を分けるなど工夫している。 ・事業所の部屋数を最大限活用し、各部屋の常駐人数も設定している。 ・低学年・高学年の2グループに分け、少人数で療育を実施している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		業務が重なる際は他プランナーがフォローして対応している。一方で、送迎不足や個別対応時に他児童への職員配置が不足する場面も感じている。 HUGを活用し、配置基準を確認しながらシフト作成を行っている。	児童の安全に配慮した人員配置に努めます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	5	0	物品はひらがな表記とし、学年に応じて時間表示を工夫。 部屋の用途を分け、活動の流れをホワイトボードで視覚化している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日消毒を実施。受け入れ前に清掃・換気・消毒を徹底。 壁の破損箇所はカバーしているが改善課題あり。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	部屋ごとに個別対応可能。癇癪時は相談室やマットで落ち着ける空間を確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	昼礼以外にも事象共有の場を設けている。児童対応についてさらに話し合いを深めたい。	昼礼以外にも必要に応じて終礼を実施していきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	会社全体で毎月アンケート実施。保護者アンケート結果の共有が十分でない点は課題。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	月1回程度Lab内面談を実施。今月からCPとも実施予定。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	コンサル会社が社員アンケート実施。外部評価は未実施だが今後に向け準備中。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	eラーニング導入。毎週のミーティング等で研修実施。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	入退職・異動が多いため、周知をより頻回に行う必要性を感じている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	意思表示が難しい児童には直接聞き取り実施。児発管が保護者・相談員と細やかに会議を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	支援計画は全プランナーの意見を反映し修正。すぐ確認できるよう整理保管をしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	13同様、計画を掲示し職員が共有できる環境を整備		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	独自アセスメント使用。より具体的な共通様式の検討課題。AI活用等も視野。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	家族支援は保護者協力のもと実施。地域移行も児童に状況により検討している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	毎月の課題決定は全プランナー参加。内容を深めて共有。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	楽しめる療育・外出先を設定している。より柔軟な企画が今後の目標。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	作業療法士・保育士が計画立案し、チーム活動や個別制作を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	昼礼内で実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	業務後に終礼・話し合い実施。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	サービス提供記録はシステムで管理。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	保護者様へ適宜確認をしている。主に児発管が対応。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	0	日々多様なプログラムを組み合わせ実施。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	意思表示を促す声掛けを継続している。		
関係機関や保護者との連	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	参加困難な場合は事前意見を取り入れ代理で発言をしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	学校・主治医との話し合い参加を促している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	送迎時に学校と情報共有。LINE等も活用。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	事前相談機会あり。SF移行交流は実施。幼稚園との連携は今後の課題。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	申し出があった際には、情報共有可能とご案内している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	必要に応じ実施体制あり。	

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	3	外出先で他児との交流促進をしている。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	各種会議へ積極的に参加している。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時に随時共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	Lab内ペアトトレ未実施。必要に応じて他施設等でのプログラムをご案内している。	Lab内でもペアトトレを実施できるように取り組んでいく予定でいます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	案内書を作成し周知。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	その都度意見を聴取している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	提供後はご署名をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時共有・別途面談実施。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者会未実施。今後開催予定。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	保護者様への連絡等、迅速な対応を心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	Instagramを毎日更新し、Googleマップで情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報管理徹底。机上・キャビネット管理。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	電話だけでなく、LINEと併用し、保護者様の使いやすいツールで連絡を取らせていただいている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	会社全体で随時実施。		
非	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	特記事項なし。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	法定研修確実実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	法定研修確実実施。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	いただいたアセスメントに基づき判断。	

常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	日頃より意識して実施。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	家族連携事項の整理が課題。	今後は、保護者様と関係性を作る時間や環境を整備していく必要があります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	改善に向け随時話し合いをしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	社内全体研修へ参加。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	研修内容をLab内共有し、契約書内でも事前にお伝えしている。また、計画へ反映後、保護者様へご説明している。	